

# みんなの会ニュース

2013年2月 No.19

発行 市政にみんなの声を多摩市民の会

連絡先 多摩市永山 4-2-4-101

永山ほっとセンター内 042-311-4338



みんなの会新田孝代表

一月二十七日(日)、「みんなの会」主催の「みんなが元気になれる『新春のつどい』」を開きました。  
はじめに「みんなの会」の新田代表が挨拶をしました。挨拶の中で「今年は、四月に日野市長選、六月に都議選、



## みんなが元気になる

### 新春のつどい

主権在民、平和主義、基本的人権の尊重の憲法三原則を大切にしていきたい  
(阿部市長)

七月に参議院選と大事な選挙が続きます。忙しくなり大変ではありますが、世の中を変えるチャンスです。力を合わせて、がんばりましょう。」と云うことが話されました。次に池上さんによる記念講演「総選挙が示した民主主義の危機と改憲路線、そして・・・」が行われました。(内容については、後のページにまとめてあります)忙しい中、阿部市長も参加してくれました。池上さんの講演の後、阿部市長に話をいただきました。



阿部裕行市長

阿部市長は、新年のあいさつをした後、次のような話をしました。「先日、多摩市でも成人式が行われました。例年、成人の日是好天に恵まれていたのが、今年の成人の日はここ数年なかった大雪となりました。足元の悪い中、一四二九名の新成人のうち、男性四七〇名、女性四一八名、合計八八八名が参加

しました。多くの来賓者からお祝いを受け、感動のうちに終了しました。また多摩市は、来年度に向け初級の採用試験も行いました。これにより、仕事の経験を次に上げていくことができます。多摩市では公契約条例を制定しました。これにより、働く人の労働条件を改善していきたいと思っています。多摩市は、一人当たりの公園面積が大変多い地域です。地方自治法の改正で基準が市独自に決められるようになったので、多摩市では、一人当たりの公園面積は十三平米以上を標準とするこ

とで、公園の確保をしていきたいと考えています。主権在民、平和主義、基本的人権の尊重という日本国憲法の三原則を大切にしていきたいと思えます。」

阿部市長の挨拶の後、三つの団体からの発言があり、最後に大熊さんのギター伴奏でたくさんのお歌を歌いました。元気な歌声が会場いっぱいに響きました。

## 「新春のつどい 池上洋通さん記念講演Ⅱ」

### 「総選挙結果が示した民主主義の危機と改憲路線、そして・・・」

池上洋通さん（多摩住民自治研究所研究員室長）からは、「総選挙結果が示した民主主義の危機と改憲路線、そして・・・」と題して、一時間超にわたって話をいただきました。

### 選挙制度改革に立ちあがるぞ！

池上さんはまず、昨年末の総選挙が、最高裁から、一票の格差問題で「違憲」と判断されたもとの強行されたということで、限りなく無効だということを強調したあと、もう一つの総選挙の大問題…小選挙区制度が、いかに民意をゆがめているか…を、データも使って詳しく述べました。

そもそも、今度の総選挙では、棄権が大量に生ま

れ、しかも、せっかく投票所に行っても白票などの無効票が三二〇万票も出ています。池上さんはまず、このことに喚起をうながしました。

次に小選挙区制のゆがみです。自民・公明ブロックは、議席占有率こそ六十七・七%と「圧勝」ですが、得票率は、小選挙区で四十五・五%、比例区ではわずかに三十九・四%です。大量の死票が生まれる小選

挙区制のマジックを使っ  
ての「圧勝」です。

仮に、すべて比例区で選挙がおこなわれたとすれば、自民党は百三十三議席（実際は二百九十四）、維新は九十八（同五十四）、民主七十七（同五十七）、みんな四十二（同十八）、共産二十九（同八）、社民十一（同二）…などとなります。いま私たち有権者は、この選挙制度のゆがみを正すたかいに立ちあがらなければならぬと池上さんは訴えました。

次に、この虚構の多数（衆議院で三分の二以上を占め

る）をもとに、現実の危機として表れている改憲に話が移りました。

今度の総選挙で自民党は、一九五五年の結党後、初めて「改憲」を公約に掲げて選挙をおこないました。このことが、憲法九条改憲による国防軍の創設はじめ、まったく新しい情勢をつくりだしてい

ることに、池上さんは注意を喚起しました。

自民党のホームページから、「憲法改正草案Q&A」や公約集を見ることができそうですが、こういうものもしっかり見て、彼らが何を、どうやろうとしているのか？をきちんと見ていくことを強調しまし

### 改憲への新たな情勢に危機感を



た。

「改正草案」では、国防軍以外にも「結社の自由への制限」「公務員の団結権の否定」「道州制」などなど、問題点が目白押しです。

# 住民が賢くならなければ地方自治を豊かにできない...

## 「市民白書」をいそいそと

最後に、池上さんは、地方自治に話を移しました。地方自治法の改正によって、一四〇〇項目の基準の決定が基礎的自治体である市町村に権限が移ります。これは、住民が自己決定できることになると同時に、住民と市長・議会に、能力がなければ「総無責任体制」になることでもあります。



池上さんは最後に、①「自助・共助・公助」路線とたたかい、憲法に基づく基本的人権の実現を求める、②「地域主権改革」を逆手にとって自治的に民主主義を発展させる、③憲法と自治基本条例を活かした多摩市の未来を描くため「市民白書」づくりへ力を合わせよう、と、三点を訴えて話を結びました。



## 参加団体から ひびくや

**年金者組合：若江さん**  
○今年の最重要課題―暮らしを壊す年金二・五％切り下げに「異議あり！」の運動を強め年金削減の流れを変えさせる、消費税増税中止、社会保障充実を求める運動にとりかかります。

○地域の高齢者要求実現―毎年対市要請・懇談会開催。昨秋の懇談では多摩市でも起こった高齢者の孤立死・孤独死をなくすため、組合として市が地域の老人組織等に見守り・巡回してもらえる話し合いの場を作るようリードしてほしいと提案しました。

上(人口の1%)をめざしています。  
○「楽しみ七分、活動三分」―現役の時にやりたくてもできなかったことがやれる、年金者組合は「楽しみ」がキーワード。月一回の歩こうかい、三カ月ごとの誕生会のほか、様々な文化・サークル活動で楽しんでおり、この中で新たな仲間も増えています。

○仲間づくり―二十三年前、組合員三十二名でスタートした多摩・稲城支部は一月末で三百二十八人(多摩市二百二十人)。数は何よりの力。高齢者(六十五歳以

だを動かす「親子リズム」体操にたくさん参加しています。「若い人」を信頼して、どんどん役員になってもらい、活躍してもらおうと考えています。

**新婦人多摩支部 大段さん**  
昨年は新婦人の会創立五十周年で、中央・都・支部でも「記念の集い」を行いました。気持ちを新たに、次のステップに踏み出したいと思っています。多摩支部には、幼児のいる若いママたちが、毎月、火、水、木と親子でから

また、「女性の権利」や「日本軍慰安婦」問題など、取り組んでいくことはたくさんあります。署名等で、みなさんのお力をお借りすると思いますが、その時は、ご協力をお願いします。

## 市民参加の「白書」

▼みなさんも一緒に取り組めませんか？

昨年から、みんなの会として市政問題の学習を続けてきました。一月からは具体的に「市政白書」づくりをすめようということになり、「どんな多摩市をつくりたいか」という「作文」を持ちよって、一月二十六日に「第一回検討会」をおこないました。

人工的に作られた街「多摩ニュータウン」についての意見交換がおこなわれ、国に都の責任は終わりでなく、これからのリニューアルにも責任を果たしてもらいたいという点がだされました。

次回からは、「白書」に向けて、分野別の検討をすめようということになりました。

▼次回の「検討会」は三月十一日(月)午後七時から南多摩教育会館二階です。

# PPP・PFI

## 何ですか？



多摩市は「仮称」公共施設の適正配置に関する行動計画」を作ろうとしています。総論には、「少子・超高齢化社会に向けた持続可能なまちづくりのため」という副題がついていて、これからの多摩市は右肩上がりの収入もみこまれないから、公共施設総量を削減や見直しをしていきたいと思いますという考えかたが示されてきそうです。でも、

年をとったら施設はより身近な所にはほしいというのが市民の本音ともいえるので、計画が示される前から、矛盾と波乱が予測されます。そのうえ、民間資金を活用する「PFI手法」や官民連携の「PPP手法」を考えているようです。が、「何のことかわからない」というのがこの「〇〇手法」というやらかたです。

そこで、ただ「なんかおかしそう」という前にしつかり、その本質を学ぼうということ。二月一日、まず「PFI・PPPって何だろう？」という学習会をおこないました。

講師は元日大教授の永山利和さん、

中小企業論が専門で公契約条例など働く者の立場での研究にも関わっているかたです。

この日のお話は、公共施設の根本問題からはいりました。施設も道路も「新設の法律」はあるが老朽化をフォローする法律がなく、維持管理費が極端に少なく、それが笹子問題でもあること。イギリスのPFI、日本のPFIは似て非なるところがある、PFIは民営化路線だが全て悪と決め付けられないことも必要だなどあつという間に時間が過ぎてしまいました。

とても一日では解決できないということ。次回は「多摩市の公共施設」をとりまく具体的な学習をしましょうということになり、永山先生も今後講師としておいでいただくことになりました。ぜひ、次回はご参加ください。

【次回】 三月二十二日(金) 午後六時三〇分から南多摩教育会館2階会議室 参加費三〇〇円。

## みんなの会参加団体

- ▽教育を考える多摩市民の会
- ▽原水爆禁止多摩協議会
- ▽公共一般多摩支部
- ▽新日本婦人の会多摩支部
- ▽全国福祉保育労
- ▽くま保育園分会
- ▽全国福祉保育労
- ▽桜ヶ丘第一保育園分会
- ▽多摩稲城労連
- ▽たま健康友の会
- ▽多摩市財政分析研究会
- ▽多摩市職員組合
- ▽多摩市に公立の特別養護老人ホームをつくる会
- ▽多摩生活と健康を守る会
- ▽東京土建多摩稲城支部
- ▽東京都教職員組合多摩地区協議会
- ▽日本共産党南多摩地区委員会
- ▽年金者組合多摩稲城支部
- ▽福祉をすすめる多摩市連絡会
- ▽南多摩民主商工会

(アイウエオ順)